

平成 2 3 年度

【1】

題名	おじおじのおしごと
本人氏名	小暮 萌花（こぐれ ほのか）
性別	女
年齢	8
受賞者との続柄	姪
<p>おじおじは、うえ木やさんです。</p> <p>大きなはさみで木を切ったり、草とりをしたり、にわをつくったりします。</p> <p>わたしのお家に木をうえたり、切ったりするところを見てすごいなあと思いました。</p> <p>あせをながしながらやりました。</p> <p>たいへんだなあと思いました。</p> <p>キレイになったにわを見てうれしかった。</p> <p>おじおじが、おしごとし家の人たちがみんなわたしと同じ気持ちだと思います。</p> <p>キレイになってみんながよろこぶおしごとなのでこれからもがんばっておしごとしてほしいと思います。</p>	

【2】

題名	ぼくのお父さん
本人氏名	山田 晴（やまだ はる）
性別	男
年齢	9
受賞者との続柄	子
<p>ぼくのお父さんは、大工さんです。</p> <p>お父さんが使う車の中には、いっぱい道ぐが入っています。ぼくが友だちと遊んでいて、木にボールがひっかかっちゃった時は、見た事もない道ぐを使って取ってくれたりします。だから、お父さんは、ぼくの友だちにも大人気です。</p> <p>家でのお父さんは、地図を見たり、図面を見たりしているけど、ぼくがそれを見ても、ぜんぜんわかりません。だから大工さんは、すごいと思います。</p> <p>ぼくは、お父さんがはたらいっている所を、少しだけ見た事があります。木を切ったり、高い所で仕事をしたりしていました。ぼくは、高い所がこわいので、高い所にいるのが、すごいなあと思いました。</p> <p>ぼくは、大きくなったら大工さんになりたいので、いっぱいべん強して、高い所もこわくなくなるように、がんばりたいと思います。</p>	

【3】

題名	私のお父さん
本人氏名	渡部 吏子（わたなべ りこ）
性別	女
年齢	10
受賞者との続柄	子
<p>私のお父さんの仕事は、道路や橋を作る土木工事をしています。</p> <p>お父さんは、げん場のかんとくとして、暑い日は、汗だくになり、そして、まっ黒になり、寒い日は、こごえそうになりながらも、働いています。そんなお父さんがちょっとだけかっこよく思えます。</p> <p>お父さんは、お父さんの仕事を「それは大変な仕事できけんがいつも一緒」だと言います。でも道路や橋ができた時に、喜んでくれる人達がいるからやりがいもある仕事だと言います。そして、おとうさんのもとで一しょうけん命に働いてくれるたくさんの人達がいるからこそ物が作れるんだと。</p> <p>私もいつかお父さんのように、みんなのために、みんなが喜んで幸せになるような仕事がしたいです。だから、私は、ファッションデザイナーになりたいです。</p>	

【4】

題名	私からみたお父さんの仕事
本人氏名	桑田 早和子（くわた さわこ）
性別	女
年齢	13
受賞者との続柄	子
<p>私は小さいころ、よく作業場に行ってお茶を飲んだり、木にくぎを打って遊んでいました。小さかったころは、あれはどんな機械なのか、何ができる機械なのか気になっていました。自分が使わせてもらった道具類は、とんかち、のこぎり、かんな、ヤスリくらいで機械類はあまり使わせてもらえませんでした。でも、お父さんが機械類を上手に使いこなしているのは、何度も何度も練習してあんなに上手くなったんだ。と、思いました。</p> <p>私はお父さんの造った家を数々見に行き、どれくらい頑張ったのか、どれくらい時間がかかっているのか、しばしば気になっていました。ただ家を造るだけではなくて、いろいろ打ち合わせをしたり、いろいろなところに問い合わせで購入したりして、家を建てるのにただ建てればよい。と考えるだけではなくて、いろいろ使いやすいうように、工夫したりして、家を建てるのにこれだけ苦労して建てたと言う感じが、一つ一つの家によって、わかってきました。</p> <p>私が家を建てるまで、最も苦労したと思ったことは、家の一番大事な骨組みだと思いました。骨は一本の木から掘ったりけずったりして、とても時間がかかる仕事だと思いました。骨組みがなかったら丈夫な家にならないから、骨組みが一番大切だと思いました。</p> <p>私も昨年、お父さんに自分の部屋を建ててもらいました。やっぱり一番最初に行う仕事は骨組みからでした。次にだんねつぎいをいれて、電気を通したり、たくさん時間をかけて建てていました。</p> <p>これからも頑張ってお仕事をしてほしいと思っています。</p>	

【5】

題名	おじさんの仕事
本人氏名	大島 ほのか（おおしま ほのか）
性別	女
年齢	13
受賞者との続柄	姪
<p>私のおじさんは、建設技能者として働いています。その仕事とは建築に関わる仕事で、発電機やポンプなどの大型機械設置から配管設備・電気の配線作業などを行っています。建築現場の仕事なので、おじさんは昼も夜も不規則な時間で働いています。そんな建築技能者として一所懸命に働くおじさんは本当にえらいなと思います。</p> <p>私はおじさんの仕事をしている場所の写真や、仕事が終わった後の写真を見せてもらったことがあります。配管や、配線・計器などでよく分かりませんが、いろいろお話を聞くうちに、とても大変な仕事だと思いました。建築現場で働くといっても、あまり人目に付くような場所での作業ではありません。建物の裏や地下深く、またとても高いところなど、特別な危険のともなう作業場が多いようです。大きな機械を運び、取りつけたり、配線・配管したりするそうです。やっぱり私にはよく分かりません。そういった裏での作業となるので、きれいで清潔な場所での作業ばかりではないようです。ほこりだらけの部屋での作業や、汚水の近くでの作業、また、油まみれになった作業もときどきあるようです。普通の人ならいやがるような場所での作業も、いやな顔を見せずに毎日仕事をしているおじさんは、本当にすごいなと思います。</p> <p>私達がよく目にする仕事とは少しちがう建設技能者として働くおじさんを通して思うことは、こういった人達がいるからこそ、日ごろ見えていないところの安全とか、私達のくらしがあるのだということが分かりました。</p> <p>これからも、体に気をつけてりっぱな建設技能者として、がんばってほしいと思います。</p>	

【6】

題名	僕から見たお父さんの仕事
本人氏名	倉橋 優太 (くらはし ゆうた)
性別	男
年齢	14
受賞者との続柄	子
<p>僕のお父さんは道路を作る仕事をしています。毎日お母さんの作ったお弁当を持って朝早くに出かけて、暗くならないと帰ってきません。たまに朝出かけて次の日の朝まで帰ってこない事もあります。子供の頃からそれが普通なんだと思っていました。僕の住む町は海沿いの小さな町ですが、整備された、きれいな道路がたくさんあります。ある日学校からの帰り道にお父さんが僕たちの通学路で仕事をしていました。夏の暑い日でしたが、大きな機械に乗って湯気が出ているアスファルトの上を右に左に動いていました。友達もいっしょだったので恥ずかしくて「あれが僕のお父さんだよ」とは言えませんでした。でも汗だくになりながら、大きな機械を自在に操るお父さんを見て凄いなと思いました。そしてこんなに大変な仕事をしているのに家ではきつそうな顔も見せずに休日には、僕たちと遊んでくれるお父さんが大好きです。一昨年、僕の住む佐伯市に高速道路が出きました。今までは大分市内に遊びに行くのには車で1時間半ぐらいかかっていたのが今は1時間もかからずに行けるようになりました。初めてその高速道路を通ったときにお父さんが「ここはお父さんが舗装したんだ」と嬉しそうに教えてくれました。高速道路は100キロ近いスピードで通るのに静かで全然揺れたりしません。その時の車の中から見る山や海沿いの景色はとてもきれいでした。難しい事はわからないけど、これもお父さんの技術なんだと思います。今日も僕は、お父さんが作った道を通って帰ります。これからお父さんには健康でいていつか僕が友達に自慢できる道をたくさん作って欲しいです。</p>	

【7】

題名	天空の散歩道 夢大吊橋
本人氏名	大野 亜寿華（おおの あすか）
性別	女
年齢	14
受賞者との続柄	姪
<p>朝夕、ちょっぴり涼しくなり始めた季節。母が、久しぶりに明日は、家族がみんなお休みだから、お弁当を持って紅葉を見に、ドライブに行こうと、出かけた場所は、九重夢大吊橋でした。標高777メートル、大自然のパノラマの中に、高さ173メートル、長さ390メートルの日本一の大吊橋。こんな、高い場所にどうやって橋を架けたのか、不思議な気持ちと、あまりの素晴らしい景色に感動と同時に、大自然の壮大さの前に立ちすくんでしまいました。</p> <p>母がこの大吊橋は叔父さんが一年以上かかり頑張って作りあげた橋だから、勇気を出して渡ろうと、私の手をしっかり握り締め、大吊橋に一步踏み出す勇気をくれました。自然の中に溶け込んだ一瞬、恐怖心は薄れ、木々の香りを乗せて頬をなでる風、目の前には山々の萌えるような紅葉、太陽の光りにキラキラと輝きながらいきよよく流れる滝、まさに「天空の散歩道」だと思いました。</p> <p>学校の悩み、友人との出来事、あんな些細なことなんて、どうでもいいって気持ちにさせてくれた壮大な大吊橋。この素晴らしい大吊橋を作りあげた叔父さんを尊敬します。</p> <p>殆ど、自宅を留守しがちな叔父、我が屋のベルがピンポンと鳴り、笑顔とお土産を抱え、現場から帰って来ます。</p> <p>私が恐怖でなかなか一步が踏み出せなかった標高777メートルの現場、暑い日ざしの現場、冷たい北風が吹く寒い冬の現場、叔父達の流した汗とたくましい精神力で出来上がった素晴らしい夢大吊橋。</p> <p>この橋を作ったのは私の叔父なんだと思うと、すごい誇りとそして、叔父に負けないよう私も頑張らないといけないなと思いました。これからも、厳しい現場の中での橋作り、安全に気をつけて頑張っ て欲しいです。</p>	

【8】

題名	私から見たおじさん
本人氏名	佐藤 志希 (さとう しき)
性別	女
年齢	15
受賞者との続柄	姪
<p>私のおじさんは、工事現場で働いています。</p> <p>小学生の頃は、いつも作業服が泥だらけで、汚くてやだな～。</p> <p>友達といっしょの時などは、「気づかなければいいな、気づいても声かけないでよ。」と思うのが本心でした。</p> <p>ところが、中学生になったある日、学校帰りにおじさんの働いている工事現場がありました。いつもの様に「どうしょう・しらんぷりしようかな？」と思っていると、後ろから来た同級生が、「すごいよね～。あんな大きな機械動かせて・・・」</p> <p>別の友人は、「暑いのに、大変だよね。自転車道が広がるのかな・・・」</p> <p>それを聞いた時に私は、ドキッ！としました。</p> <p>それは、私が今まで外見でしか見てなかった事に・・・</p> <p>そうかおじさん達は、夏の暑い日も、冬のすごく寒い日も、外で一生懸命仕事してるんだ。泥だらけになって働いてくれる人達がいるから、何の不便もなく、暮せてるんだ。</p> <p>それから、大分たって、おじさんが話してくれました。</p> <p>「もちろん、生活の為に働いているけど、それだけではないよ。自分がかかわった現場が完成したのを見る時は、とても、うれしく、やりがいのある仕事だよ。」</p> <p>最近では、工事現場で働いている人を見ると、心の中で御苦労様ですとってます。言葉には出せないけれど・・・</p> <p>おじさん、これからも、体に気をつけてがんばって仕事してください。</p>	